

(2) 外務省邦人援護統計が発表され、2015年の統計が外務省ホームページに掲載されている。海外渡

航者数は2012年をピークに減少傾向にあるが、邦人援護統計数については1986年の統計開始以降3番目に多く、高水準で推移している。犯罪は4,719件で、うち3,834件が窃盗。次いで詐欺、強盗と続く。邦人のテロ被害も2015年にシリア、チュニジア、今年はバンクラデシュで邦人7名が殺害される事件が発生している。在外公館別の援護件数では多い順に1位タイ、2位フィリピン、3位上海、4位ロサンゼルス、ニューヨーク。アジア地域の被害が最も多く6,160件となっている。

(3) パスポート盗難に関して、9月下旬から12月初旬より17件発生し、この中でパンク強盗の被害が10月に4件発生しており、いずれも手口が一致している。

ア. 9月下旬、男性60代が、スナヤンの路上でタイヤ交換中に2人乗りのバイクが接近し鞆を盗まれた。

イ. 10月27日、40代男性が、ブカシの路上でタイヤ交換中に後部座席から鞆を盗まれた。

ウ. 11月15日、50代男性が、クラパガディン・プロガドゥンモールの路上でタイヤ交換中に2人乗りのバイクが接近し、右側ドアを開けられて鞆を盗まれた。

エ. 11月16日、50代男性が、チカランのガソリンスタンドでタイヤ交換中に鞆を盗まれた。

さらに、バイクによるひったくりの被害も2か月間で3件発生している。

オ. 10月30日、40代男性が、ジャカルタ市内のホテル前でバイクに乗った2人組に後ろから鞆を引ったくられた。

カ. 11月2日、40代男性が、マスマンシュール通りシティウォーク（デパート）周辺を歩行中、後ろから2人組のバイクが逆走し接近。肩に掛けていたパスポートの入った鞆を引ったくられた。

キ. 12月7日、40代男性が、グランドインドネシア（デパート）の裏手で歩きスマホ中に、2人組のバイクに同スマホを引ったくられた。

日本のパスポートは査証免除で訪問できる国が多いため、高価で売買されており犯罪に悪用される可能性もあることから、パスポートの所持管理はご留意いただきたい。

(4) 空港において、VOA（到着ビザ）購入のため35米ドル支払ったが査証シールが貼られていない、入国印が押印されていない等の報告があった。VOAを支払った際はシールと入国印の確認をお願いしたい。

(5) 年末年始に向けて大使館より年末年始の一般犯罪とテロへの注意喚起をメールにて在留邦人へ配信する予定。ご確認いただきたい。

5 最近の医療事情等

ジカ熱やデング熱に対する防蚊対策、インフルエンザ等の感染症に引き続きご留意いただきたい。

6 質疑応答、各社（団体）からの報告等

（質問）

報告のあったパンク強盗の被害者は、本人が車を運転していたのだろうか。

（回答）大使館

被害者は運転手を雇っており、状況確認の為に車外に出たようだ。出来れば車外に出ない、止むを得ず車外に出る場合は車の鍵を掛ける或は鞆を持って出るなどの対策をしていただきたい。

（報告）

出張者がチカランのホテルに滞在中にクレジットカードのスキミング被害にあった。クレジットカードの請求書は月単位となっており、被害が発覚して、ホテルに確認した際は防犯カメラのデータが残っておらず経緯を確認することができなかった。会社推薦ホテルを決める際は、防犯カメラの記録が何日分保管されているのかといった点を留意しておく必要がある。

(報告)

11月23日に社内で危機管理の机上練習を実施した。駐在員約120名の中で14名が危機管理担当となっているが、ジャカルタ市内で同時多発テロが発生したというシナリオで、取るべき行動を各担当者と再確認した。

(報告)

事前に予告はされていたが、12月2日に弊社に査察が入った。

その際、外国人家族証明書の申請日がKITASの取得日より1ヶ月以内でないといけないという規則があるとの事で、日付も厳しくチェックされた。

(報告) JJS

・11月25日のデモ情報が入った際は4校時までで一斉下校とした。

12月2日の大規模集会の際は2校時までで緊急下校とした。事前に大使館と連絡を取りながら、方針の決定を行なった。今後もこの様な事があると予想される為、各機関と連携を取りながら安全第一で運営を行いたい。

・11月に2日間に渡り、中学2年生が企業を訪問し職場体験、報告会を行ない良い体験となった。今後も各企業の皆様へ協力をお願いしたい。

・12月5日に職員の家族がチランダックのカルフール付近で、渋滞中に後続の車から降りてきた男性から、車が接触したと因縁をつけられた。運転手が車外で対応した際に車の鍵を奪われ金銭を強要されるも、無視したところ更にキーケースに入れていたSTNK（車両番号登録書）を奪われ、返して欲しければ付いてくる様に脅迫された。しかし運転手はそれに従わず、後日契約しているレンタカー会社を通してSTNK再発行の申請を行なった。

この報告を受けて、トラブルが発生した際は車内に留まる、止むを得ず車外へ出る場合は鍵を掛ける等の徹底を職員へ共有した。

(報告) JJC

12月2日の大規模集会の際は、朝7時より周辺道路が閉鎖される等の混乱が見込まれた為、窓口業務を休業する等の対策を取った。今後もこの様な大規模デモ・集会が発生する可能性があり、対応策を協議していきたい。

(報告) JJC

12月11日（日）8時頃にトランスジャカルタに乗車し、サリナデパート前にて下車。混雑している中でベルトにつけていたストラップから携帯電話を抜き取られた。混雑しているバスの中では貴重品はバックパックに入れ、前に抱えるなどの注意が必要であった。

次回の邦人安全対策連絡協議会は1月17日（火）午前11時から